

### 3 質問紙に関する調査結果



## 児童生徒質問紙調査結果

### 1 岡山市の特長及び課題と思われる項目(「自己肯定感」「読書」「家庭学習」に関わる項目)

#### (1) 全国と岡山市の結果比較

質問事項	小学校			中学校			
	岡山市	全国との差(H30) -10 ▼ 10	全国との差(H29) -10 ▼ 10	岡山市	全国との差(H30) -10 ▼ 10	全国との差(H29) -10 ▼ 10	
自己肯定感	※ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある		1.3			0.4	
	自分には、よいところがあると思う	90.8	5.5	3.8	82.8	4.0	3.0
	将来の夢や目標を持っている	84.9	△ 0.2	0.4	70.7	△ 1.7	△ 2.6
読書	学校の授業時間以外に1日あたり30分以上読書をする	42.4	1.3	2.3	30.6	△ 0.3	1.0
	※学校の図書館(授業以外)や地域の図書館に年に1回以上行く			△ 2.9			5.6
	※読書は好きである			5.5			1.4
家庭学習	家で、自分で計画を立てて勉強をしている	71.3	3.7	2.5	49.5	△ 2.6	△ 2.4
	普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上勉強している	72.4	6.2	4.0	63.3	△ 7.3	△ 8.7
	家で、学校の宿題をしている	98.0	0.9	0.6	90.1	△ 1.5	△ 2.9
	家で、学校の授業の予習・復習をしている	63.8	1.2	H30新設	44.4	△ 10.8	H30新設
	※家で、学校の授業の予習をしている			1.3			△ 5.9
	※家で、学校の授業の復習をしている			2.5			△ 12.1

#### (2) 岡山市の平成29年度と平成30年度の結果比較

質問事項	小学校			中学校			
	H30	H29	前年度との差 -10 ▼ 10	H30	H29	前年度との差 -10 ▼ 10	
自己肯定感	※ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある	96.1			95.1		
	自分には、よいところがあると思う	90.8	81.7	9.1	82.8	73.7	9.1
	将来の夢や目標を持っている	84.9	86.3	△ 1.4	70.7	67.9	2.8
読書	学校の授業時間以外に1日あたり30分以上読書をする	42.4	38.8	3.6	30.6	30.2	0.4
	※学校の図書館(授業以外)や地域の図書館に年に1回以上行く		64.3			47.5	
	※読書は好きである		79.8			71.3	
家庭学習	家で、自分で計画を立てて勉強をしている	71.3	67.0	4.3	49.5	49.1	0.4
	普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上勉強している	72.4	68.4	4.0	63.3	60.9	2.4
	家で、学校の宿題をしている	98.0	97.5	0.5	90.1	86.6	3.5
	家で、学校の授業の予習・復習をしている	63.8	H30新設	H30新設	44.4	H30新設	H30新設
	※家で、学校の授業の予習をしている		42.3			25.8	
	※家で、学校の授業の復習をしている		56.3			38.4	

※の質問項目は、本年度調査なし

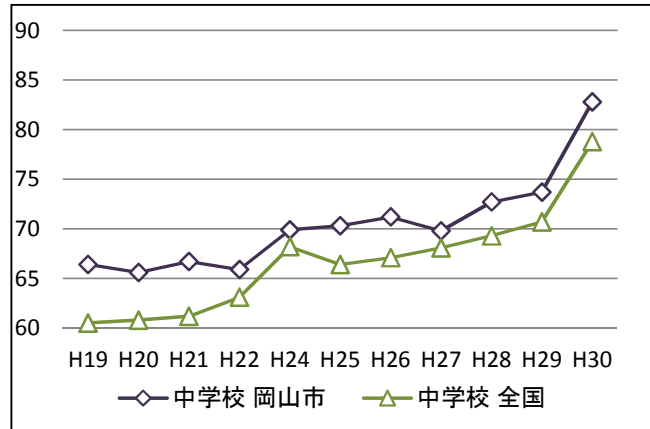
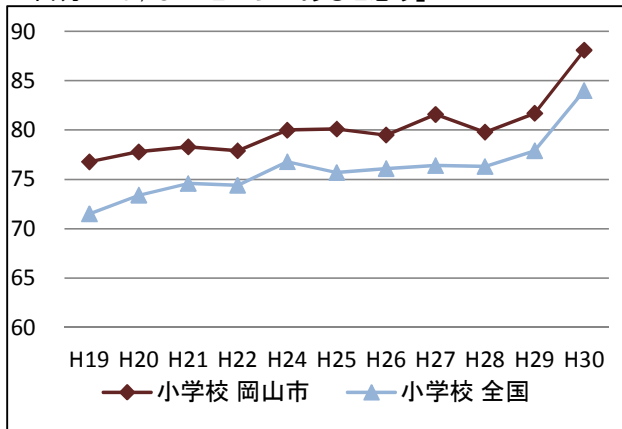
### (3) 全国と岡山市の経年比較

※ 平成22年度及び平成24年度は抽出調査のため参考値として掲載。

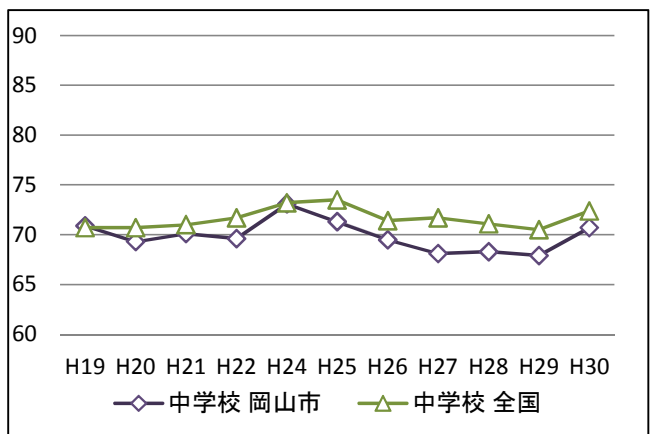
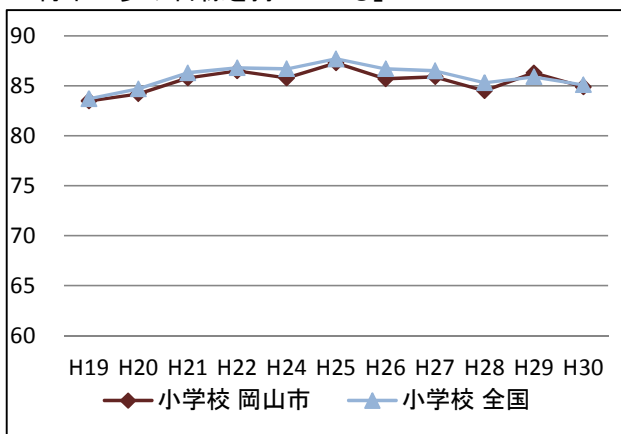
※ 平成23年度は東日本大震災のため実施していない。

#### 【自己肯定感等】

##### ◆ 「自分には、よいところがあると思う」

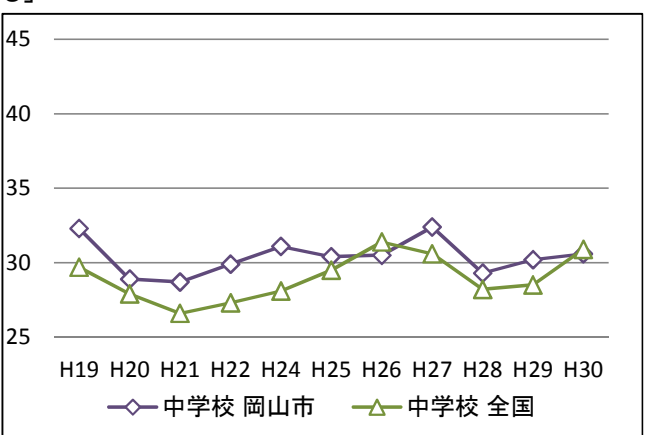
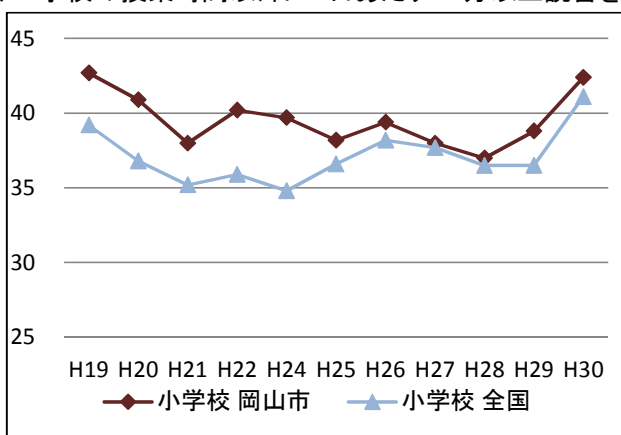


##### ◆ 「将来の夢や目標を持っている」



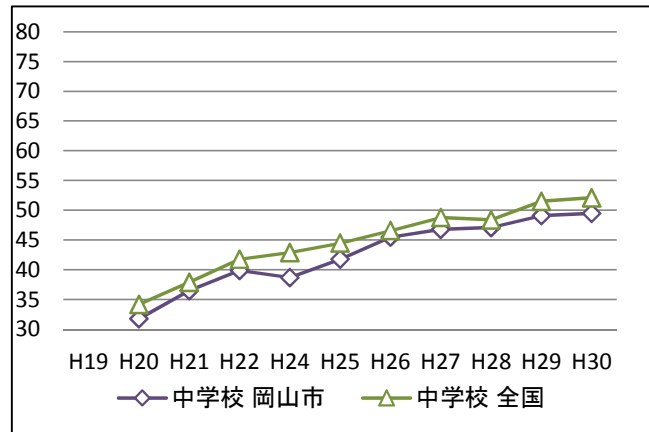
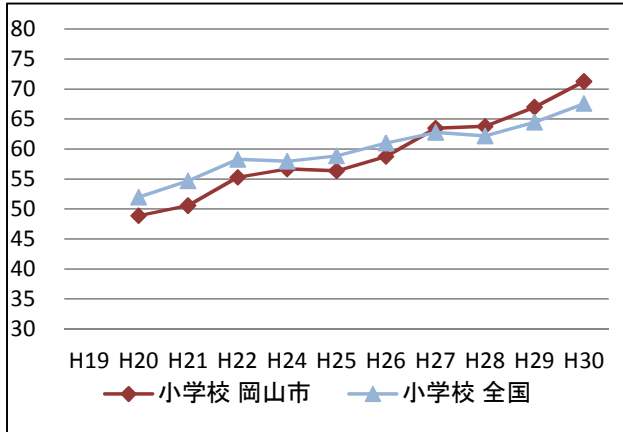
#### 【読書】

##### ◆ 「学校の授業時間以外に1日あたり30分以上読書をする」

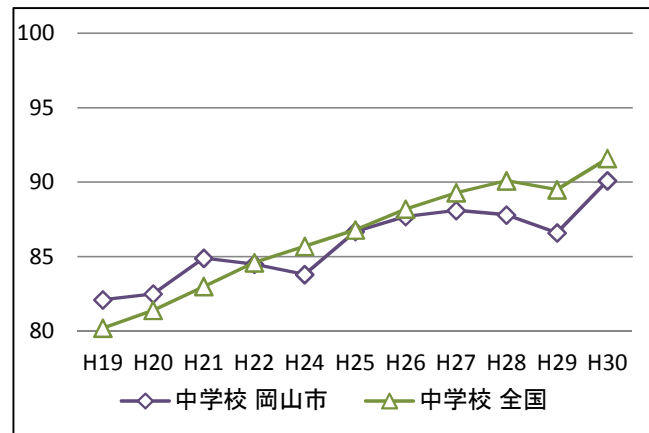
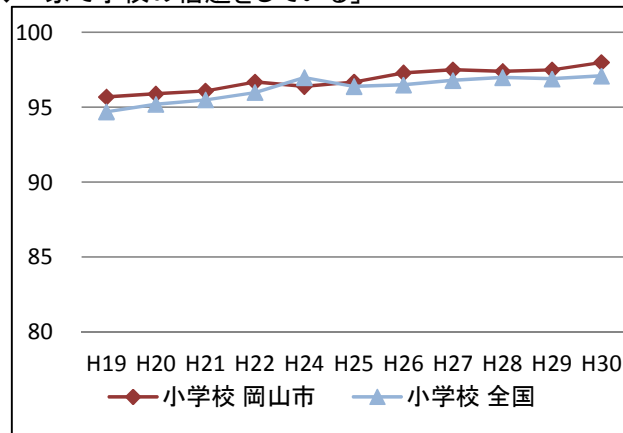


## 【家庭学習】

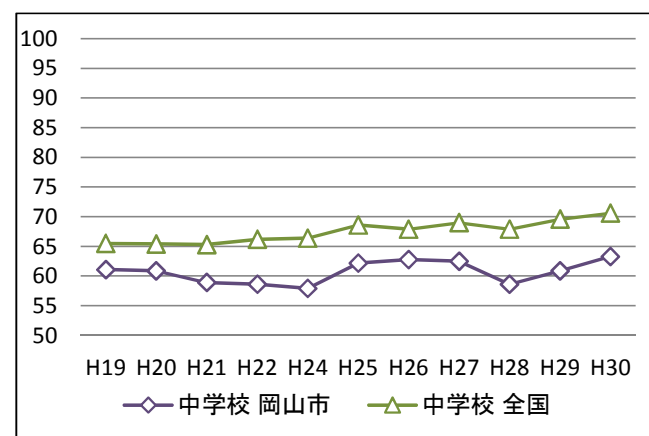
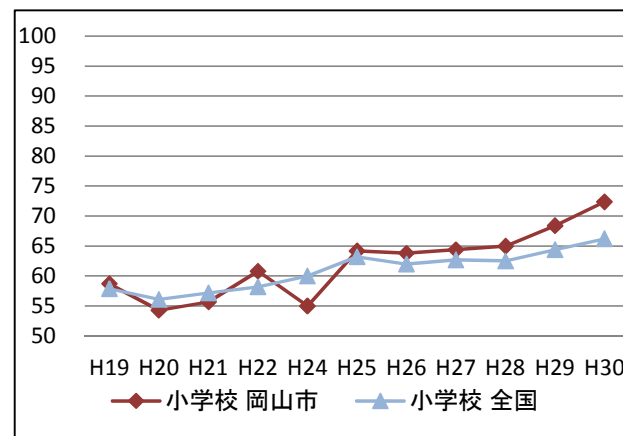
### ◆「家で自分で計画を立てて勉強をしている」



### ◆「家で学校の宿題をしている」

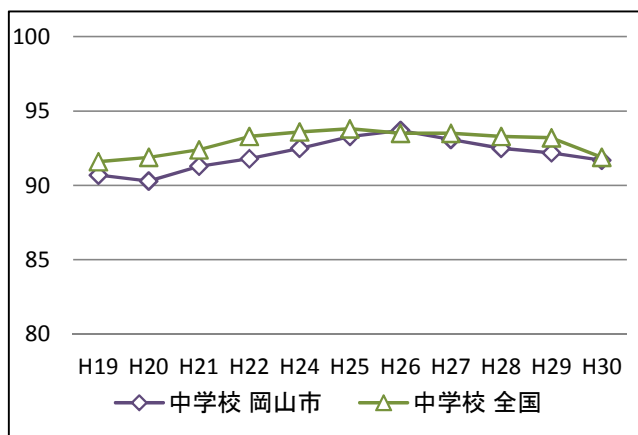
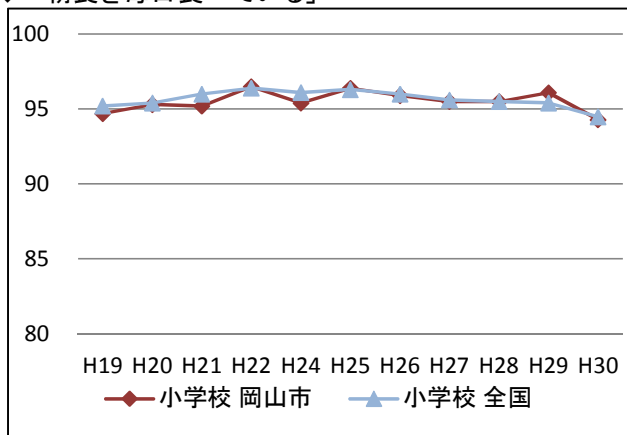


### ◆「普段(月～金曜日), 1日当たり1時間以上勉強している」

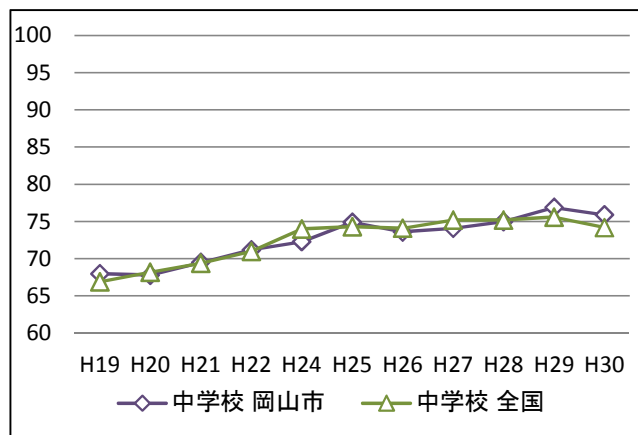
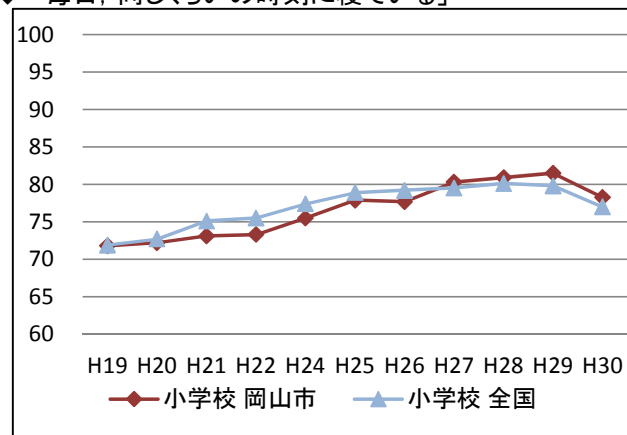


【生活習慣】

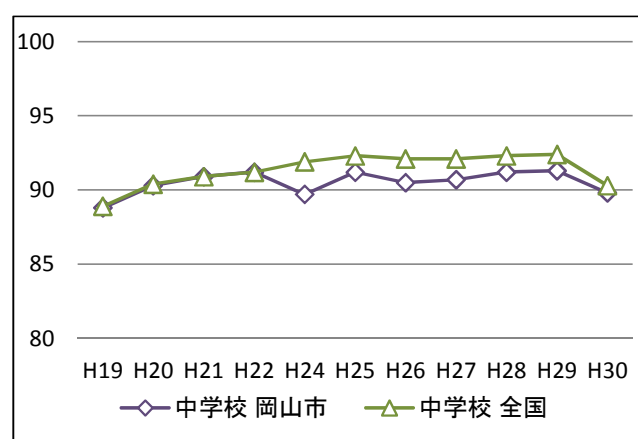
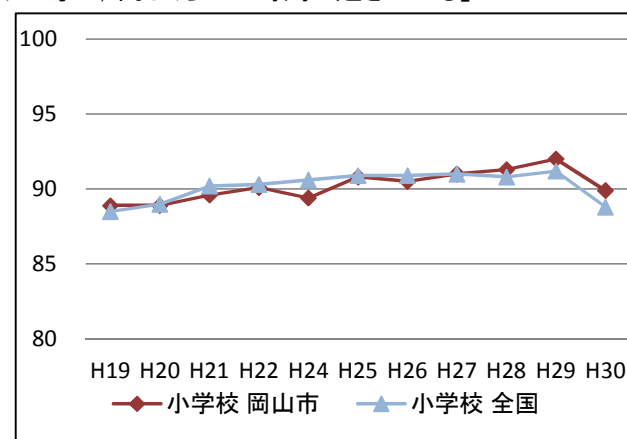
◆「朝食を毎日食べている」



◆「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」

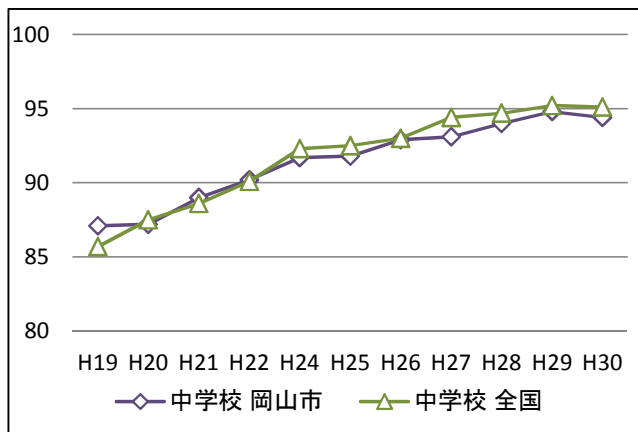
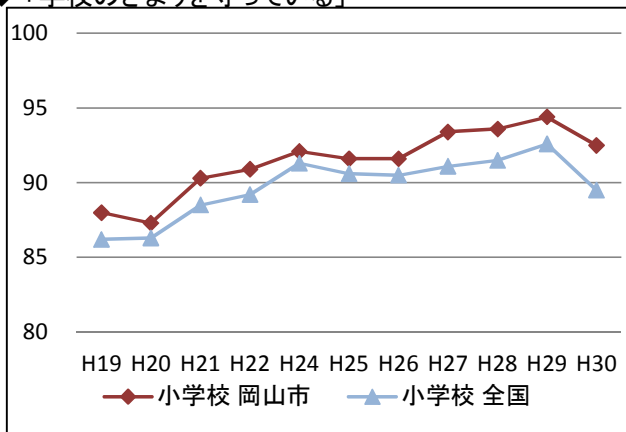


◆「毎日、同じくらいの時刻に起きている」

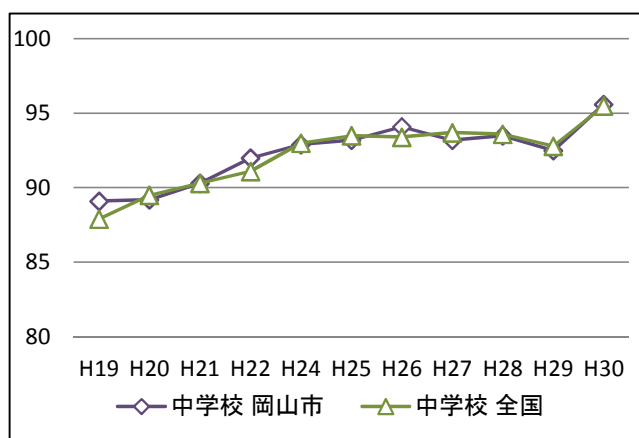
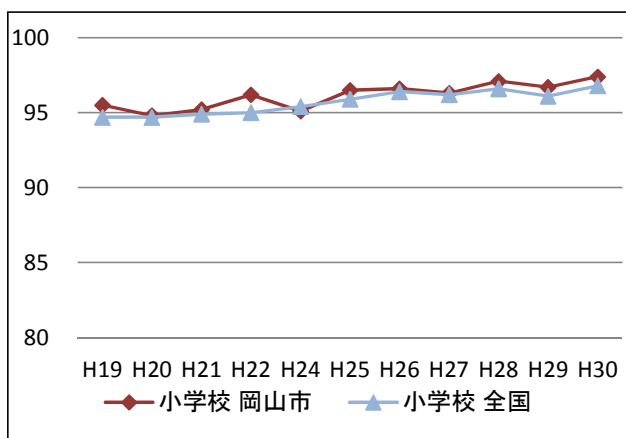


【規範意識】

◆「学校のきまりを守っている」



◆「いじめは、どんな理由があってもいけない」



#### (4) 児童生徒質問紙調査結果から

##### 【自己肯定感】

###### 〈関連項目の結果の状況〉

- ◇ 「自分には、よいところがあると思う」という自己肯定感をあらかず項目では、小・中学校とも昨年度を上回っており、どちらも4ポイント以上全国平均を上回り、平成19年の調査開始以来、最も高くなっている。
- ◇ 「将来の夢や目標を持っている」という項目では、小学校においては昨年度より下降したものの、全国平均を若干上回った。中学校においては、昨年度より上昇したものの、全国平均を下回っている。

###### 《今後の取組》

- ◆ 各種調査を活用し、子どもたち一人一人の実態を把握することで、個に応じた課題を設定する。その上で、子どもたち一人一人の成果や努力を認めることで、達成感、自己肯定感を高めることが大切である。
- ◆ 子どもたちが将来の夢や目標を持つことができるようにするために、小学校では、将来就きたい仕事や夢について考えるようなキャリア教育を実施することが大切である。中学校においても、子どもたち自身が夢や目標を自覚できるような指導を行っていくことが大切である。総合的な学習の時間や特別活動など、様々な教育活動の中で、将来の夢や目標を持つことができるような系統的な学習活動が必要である。

##### 【読書】

###### 〈関連項目の結果の状況〉

- ◇ 本年度は、「図書館に行く回数」、「読書は好きである」などの読書についての調査が実施されていない。
- ◇ 授業時間以外に1日30分以上読書をしているという回答が、小・中学校ともに昨年度を上回る。

###### 《今後の取組》

- ◆ 学校図書館司書や司書教諭等と連携しながら、より一層、子どもたちが読書に慣れ親しむ取組や環境づくりをしたり、家庭と連携し、読書好きな子どもたちを増やしたりする取組をしていくことが大切である。
- ◆ 「メディア・コントロール」等の取組と関連させて読書に親しむ機会を設けることなどが考えられる。

## 【家庭学習】

### 〈関連項目の結果の状況〉

- ◇ 「家で自分で計画を立てて勉強をしている」という項目では、小・中学校ともに年々上昇傾向にあり、平成20年度と今年度を比較すると小・中学校ともに、大幅に上昇している。小学校では昨年度に引き続き全国平均を上回った。中学校では昨年度と同様に、全国平均を下回っている。
- ◇ 「家で学校の宿題をしている」という項目では、中学校において、3年ぶりに上昇し、調査開始以来、最も高くなったが、全国平均を下回っている。
- ◇ 「普段（月～金曜日）、1日当たり1時間以上勉強している」という項目では、小学校では4年連続上昇し、全国平均を上回っている。中学校では、昨年度に引き続き、上昇したが、全国平均以下である。
- ◇ 「家で学校の授業の予習・復習をしている」という項目では、小学校では、全国平均をわずかに上回ったのに対して、中学校では、全国平均より10.8ポイント低く家庭学習の充実が、昨年度同様、本市の課題と言える。

### 《今後の取組》

- ◆ 家庭学習の充実のために、授業と家庭学習がつながるような授業改善が必要である。例えば、授業の終末で、家庭学習の内容や方法について具体的に触れることで、授業の内容を踏まえた学習を家庭でより行いやすくしたり、家庭で取り組んできた内容を用いて授業を展開したりすることで、家庭学習への子どもたちの意欲を高めることが考えられる。
- ◆ 子どもたちが家庭学習の習慣を身に付けられるような手立てを考える必要がある。そのために、子どもたちの家庭学習の状況などを教師が把握し、子どもの実態に合った課題を出すことで、継続して家庭学習に取り組むことができるようにすることが大切である。  
また、中学校においては、各教科から生徒にどの程度宿題が出ているのか、教員が随時把握し、特定の日に宿題が集中しないように、教員間で連携していく必要がある。
- ◆ 「家庭学習の記録」等で子どもたちの家庭学習の様子を把握する場合、普段の学習状況がつかめるよう、工夫を図ることが必要である。また、日々の努力を認めるなどのフィードバックをより一層大切にしたり、一人一人の実態に応じたアドバイスや支援を行ったりすることにより、子ども自身が達成感をもつことができるようにすることが家庭学習の習慣化には欠かせないものとする。
- ◆ 「家で自分で計画を立てて勉強する」ことができるようにするためには、帰りの会などで、その日の家に帰ってからの時間の使い方を決める活動が考えられる。また、中学校においては、テスト期間前に計画表を作成して実践できるように、計画的に授業を進め、テストの1週間前までには、補助教材等の宿題を終え、生徒が自分が分からないところを把握し、その解決に時間を使えるようにしたい。





## 【生活習慣】

### 〈関連項目の結果の状況〉

- ◇ 「朝食を毎日食べている」という項目では、小・中学校ともに全国平均に近いが、小学校では、やや下降傾向にある。中学校では、上昇傾向にあったが、平成26年をピークに年々下降している。「どちらかといえば、している」を除き「している」と回答した生徒は、78.9%であった。つまり、40人のクラスでは、8人以上の生徒が朝食を食べずに、授業を受けていることになる。
- ◇ 「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」という項目では、小学校では、平成27年に全国平均以上になり年々上昇傾向にあったが、本年度は、全国平均以上であるものの大きく下降している。中学校においては、上昇傾向にある。
- ◇ 「毎日、同じくらいの時間に起きている」という項目では、小・中学校ともに昨年度に比べ下降している。

### 《今後の取組》

- ◆ 生活習慣の改善のために、学校生活の多様な場で生活習慣についての指導の充実を図り、保護者との連携を工夫する必要がある。例えば、家庭科や保健体育、理科の授業で、朝食の大切さを学習するとともに、学級活動で児童生徒が自分の生活習慣を見直すことが考えられる。また、学校だけより、保健だよりだけでなく、PTAと協力して家庭への働きかけを同時に行うことが効果的である。

## 【規範意識】

### 〈関連項目の結果の状況〉

- ◇ 「学校のきまりを守っている」という項目では、小学校では、昨年度から低下しているが、全国平均以上である。中学校では、昨年度より、やや低下したものの、上昇傾向にある。また、「どちらかといえば、当てはまる」を除いた「当てはまる」と回答した児童生徒は、全国平均より児童が11.2ポイント、生徒が3.8ポイントそれぞれ高くなっている。
- ◇ 「いじめは、どんな理由があってもいけない」という項目では、小学校では、全国平均と同じく、高い状況を維持している。中学校では、全国平均と共に、初めて95%を超える結果となった。

### 《今後の取組》

- ◆ 周囲の人に大切にされている、支えられている、認められているという実感をもつことが規範意識の土台として大切であると考えられる。そのために、集団の一員であるという意識や自覚をもつことができるようにしたり、具体的な将来の目標をもつことができるようにしたりと取組を工夫したい。

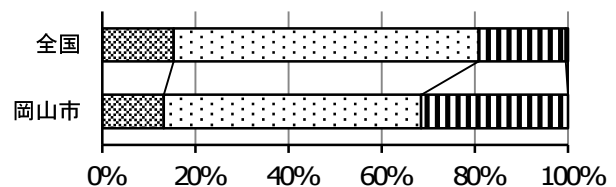
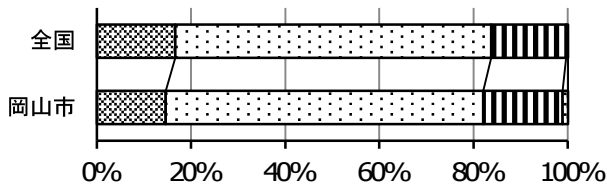
## 2 「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」に関わる項目

【学校質問紙】調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

### 小学校

### 中学校

■ そのとおりだと思う □ どちらかといえば、そう思わない ■ どちらかといえば、そう思う □ そう思わない



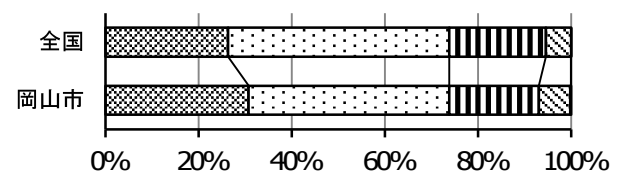
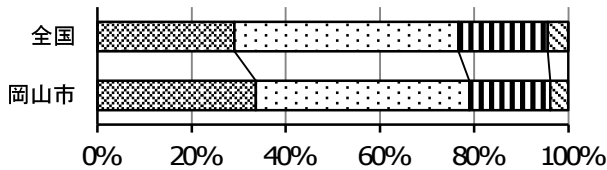
【児童生徒質問紙】5年生まで（1，2年生のとき）に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から進んで取り組んでいたと思いますか（新規）

### 小学校

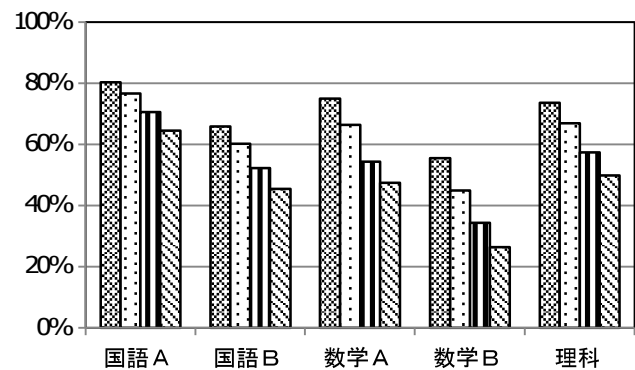
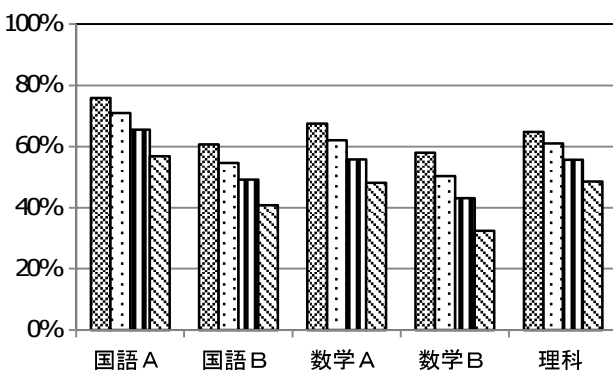
### 中学校

#### 回答割合

■ 当てはまる □ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない □ 当てはまらない □ その他、無回答



#### 選択肢毎の平均正答率

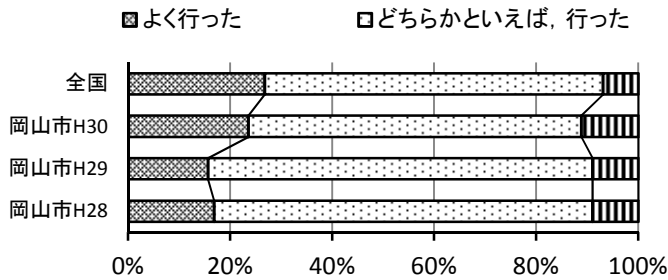


○ 「調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか」との質問では、肯定的な回答が中学校において全国平均より低かった。

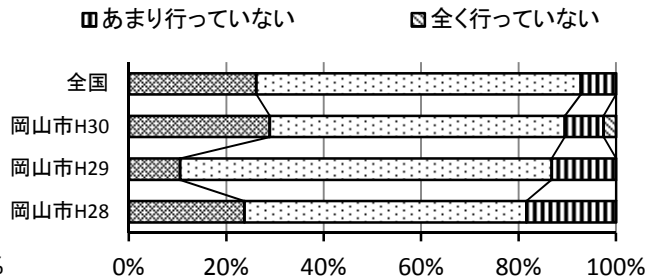
○ 「5年生まで（1，2年生のとき）に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から進んで取り組んでいたと思いますか」との質問に「当てはまる」と回答した児童生徒の割合が、小・中学校ともに全国平均より高く、7割を超えている。また、この質問に肯定的に回答した児童生徒の方が、平均正答率が高い傾向が見られた。

【学校質問紙】 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか

小学校



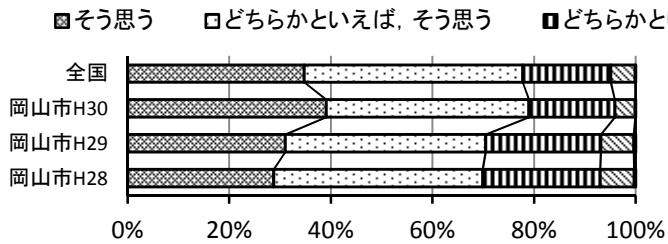
中学校



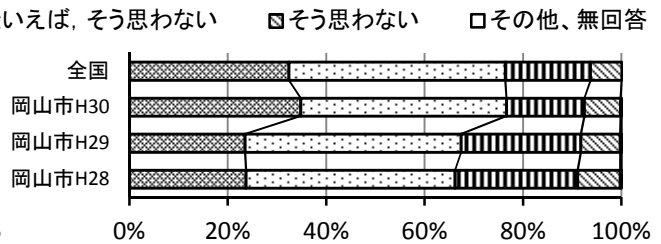
【児童生徒質問紙】 学級の友達と（生徒）の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか

小学校

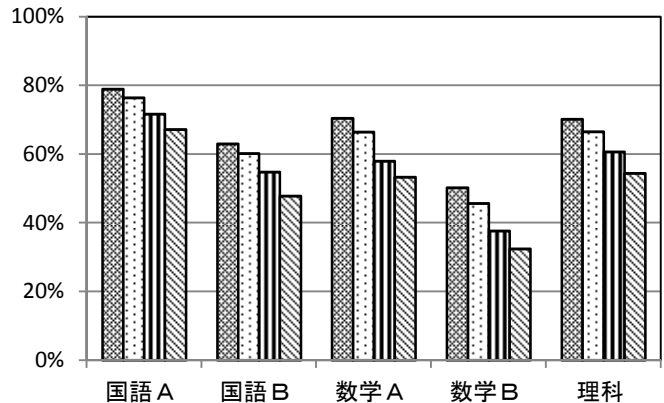
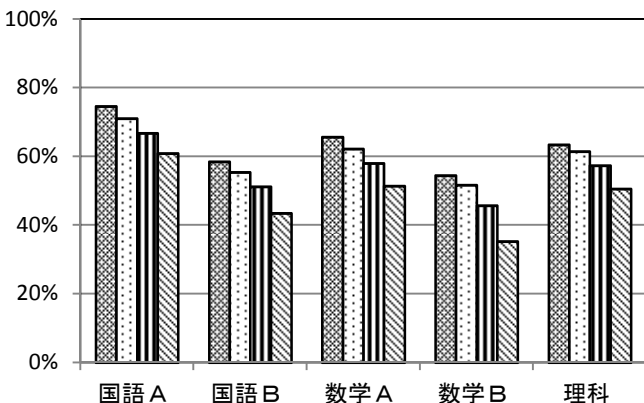
回答割合



中学校



選択肢毎の平均正答率



- 「習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか」との質問に、肯定的に回答した小中学校の割合は、増加傾向にあるが、全国より低い。
- 「学級の友達と（生徒）の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」との質問に、肯定的に回答した児童生徒の割合は、増加傾向にあり、全国より高い。また、この質問に肯定的に回答した児童生徒の方が、平均正答率が高い傾向が見られた。